

タイセイヨウニシン

分類：ニシン目 ニシン科  
 学名：*Clupea harengus*  
 英名：Atlantic herring

北米ハタラス岬(ノースカロライナ州)からグリーンランド及ジブラルタル海峡にかけての北大西洋の表層から200mにかけて広く分布する。北東大西洋は北西大西洋に比べて約3～5倍の漁獲量がある。体色は背部が暗青色で、側面及腹部は銀白色。北太平洋産のニシン：*C. pallasii*に比べて体型は側偏し、頭部がやや鋭く、尾柄部は細い。尾鰭上下葉端は先細、背鰭と腹鰭の起部は略々同位置で、北太平洋産のものは腹鰭起部がやや後方に位置する。春と秋との2回産卵するものもある。主にプランクトンを捕食するが、稚魚や小型魚をも捕える。刺網、巻網、トロールで漁獲される。体長45cmに達し、北太平洋産が30cm位であるのでやや大型魚。重要産業種。



P14×13½



P14×13½



P14×13½



記載なき分はP14×14 (注 P:目打)



タイセイヨウニシン

